

審査講評

群馬県住宅供給公社は、令和3年度「中期経営計画2021」に基づき事業展開をスタートさせました。今回の公社住宅リノベーション・アイデアコンペも経営戦略の一つとして掲げられており、「公社賃貸住宅再生計画2021」では、リフォーム実施計画に謳われている事業です。

今回のコンペでは、大学生、専門学校生を対象に学生ならではの視点や自由な発想から、築50年以上が経過し新規入居者が伸び悩み、間取り等の陳腐化したサン・コーポラス総社302号室を「幅広い年代の方々に支持される魅力的な住戸」へと改善するかが問われたコンペでした。

最優秀賞の「1LDKから3sLDKへ」は両親と子供2人の4人家族の世帯を想定し、限られた空間を可変壁や創作家具等の最小限の仕掛けによって間取りを可変させることで、子供の成長に合わせて永く住み続けられることをストーリー立てて提案した点が高く評価されました。

次に優秀賞の「Our Living Diversity Kit」は、昔ながらの日本家屋の部屋の使い方から着想を得て、住戸内にグリッド上に巡らせた下がり壁に埋め込み式のカーテンレールを設置し、入居者自身がDIY感覚で工夫できる「変わる間取り」が独創的でユニークな作品でした。

同じく優秀賞の「余白で広がる住まい」は、限られた住空間に「余白」という中間領域とアイストップなどの視覚的なアクセントを付けることで、広く感じさせようとするアイデア作品でした。

優良賞の「窓辺のぽっけ」は、コミュニケーションが希薄した集合住宅に「ぽっけ」という仕掛けを介して、団地に活気を取り戻そうとする意欲的な作品でした。

今回のコンペでは、どの作品からも学生の皆さんのが自由な発想や斬新なアイデアをご提案いただき、今後の公社住宅リノベーション事業を進展させていく上で、大変有意義なものとなりました。最優秀賞となった作品は事業性を勘案し、提案内容を精査した上で、実施設計を行い、モデル住宅として事業化を目指していく予定です。

最後になりますが、本コンペにご応募いただきありがとうございました。皆様が更なる研鑽を積み重ね、益々ご活躍をされることを心よりお祈りいたします。